

基本計画策定に向けた関係団体との
意見交換報告書

平成 28 年 (2016 年) 10 月

旭 川 市

目 次

1	開催目的	1
2	意見交換の方法	1
3	参加者の主な意見	1
(1)	新庁舎の機能に関する意見	1
(2)	新庁舎の敷地利用に関する意見	8
(3)	事業計画について	12
(4)	その他	14
	意見交換団体一覧	16
	【参考】 出前講座実施結果	17
1	内容	
2	実施結果	
3	参加者の意見	

1 開催目的

昨年度は、市民の皆様をはじめ、関係団体との意見交換を実施し、多くの方々から様々な御意見をお聞きするとともに、庁舎整備検討審議会や市議会での議論を踏まえ、建替え場所を現庁舎周辺エリアとする「旭川市新庁舎建設基本構想」を本年3月に策定したところです。

今年度は、新庁舎の建設位置や建築面積、機能についてより具体的な整備方針を示す基本計画を策定したいと考えており、市民活動・市民交流支援機能、バリアフリー機能など新庁舎に想定する機能と関わりの深い団体と意見交換を実施し、新庁舎がより利用しやすい庁舎となるよう意見交換を実施しました。

2 意見交換の方法

本年5月に、基本計画の検討に当たって、市の考え方の骨格をまとめた「旭川市新庁舎建設基本計画骨子」（以下「骨子」という。）を用いて、新庁舎の機能のほか、新庁舎の規模、敷地選定の考え方及び敷地利用計画などについて説明した後、参加者から質問や意見をいただく形で意見交換を実施しました。

3 参加者の主な意見

主な意見については、次のとおりです。意見は要旨を記載し、類似した意見については集約しました。

(1) 新庁舎の機能に関する意見

新庁舎の機能に関しては、「基本方針1 利用しやすい庁舎」の機能である「窓口機能」、「案内機能」、「アクセス機能」について、「基本方針2 親しまれる庁舎」の機能である「市民活動・市民交流支援機能」、「情報発信機能」、「利便施設機能」について多くの意見がありました。

また、その他の機能については、「地域産業の振興」、「文書等保管機能」、「議会機能」、「災害対応機能」、「省エネルギーや新エネルギー導入」、「その他機能」の6つの項目に分けて整理しました。

◇窓口機能

- 子育て関連の窓口は、手続の方の迷惑となるので、他の窓口と近い場所にしないほしい。
- 受付から速やかに交付するようなサービスを考えるべき。建物だけではなく職員の教育も大事。
- 障害者が安心して使えるよう1階に総合窓口を設置し、手話や障害を理解できる職員を配置してほしい。

◇案内機能

- 総合庁舎の公式玄関がわかりにくいので、わかりやすくした方がよい。

- 新庁舎と第二庁舎の動線はどうなるのか。あちこち行くのは市民にとって不便であり、1か所にまとめてほしい。
- 工事の進捗によって新庁舎の入口が変わるのなら、どちらの入口からも近くなる配置が良い。
- タッチパネルの案内板があればわかりやすい。
- 各窓口の混み具合がわかると別の用事を済ませられる。待ち時間の表示があると良い。
- 盲人は誘導ブロックが必要だが、車いす利用者にとっては誘導ブロックが影響する場合があるので、車いす利用者に影響出ないような動線にしてほしい。また、雨の日などには有効だが、カーペットは車いすで動くのに非常に抵抗があるので、車いすをこぐ力が弱い方は移動できない場合もある。
- 耳の聞こえない人は、耳で情報を得られないので、電光掲示板など目で見ることが出来る情報を提供してほしい。
- 庁舎内外に従来型の点字誘導ブロックの敷設をしてほしい。
- 出入口に盲導鈴を設置してほしい。
- エレベーターの行先を音声で確認できるような設備を設置してほしい。
- 案内表示を色・文字など工夫して見やすく、わかりやすい庁舎となっていけば良い。

◇アクセス機能

- タクシーなどの営業車は市役所近くの道路で止まって待つ状況があり、冬は特に雪で道路幅が狭いため交通渋滞を招く。車寄せや待避所など営業車が待てるスペースを整備してほしい。
- 現状の動線が不便なので、文化会館を含め、地下でも良いので営業車からの乗降スペースを確保してほしい。
- 駐車場とのつながりを是非実現してもらいたい。第二庁舎も冬などは移動が大変なので、地下で第二庁舎へもつなぐような配慮をしてもらいたい。
- バス停から広場を通して新庁舎に行くのは、距離があり野ざらしなので、西武の前にあるような屋根があると良いと思う。
- 第三庁舎の敷地の駐車場は平面駐車場の予定か。良い土地なので平面駐車場に広いスペースを使うのはもったいない。
- 来庁者の駐車場を第三庁舎の敷地に作るのは良いと思う。車の来庁者が一番利用しやすい形だと路上駐車の問題が生じ、公共交通に良くない事例が多々ある。公共交通機関を利用する来庁者が1番使いやすいようにバス停から出入口までの動線を近くすると良いと思う。
- 緑橋通はバスの往来が多いので、市民の利便性も考え永隆橋通側も道路を広げてほしい。広げられれば、市役所を起点としたバス路線も考えられると思う。
- 緑橋通は、現状、車の流れが悪く安全性が担保できないのでは。
- 文化会館でイベントをやっても、観光バスが止められない。緑道をつぶして駐車場にするなど考慮が必要。

- 駐車場を予定している第三庁舎敷地に貸切りバスの駐車スペースがあると良い。文化会館を移した場合、グランドホテル周辺に貸切りバスが駐車すると 6 条通の流れが悪くなる。
- 現状は駐車場が少なく、路上駐車が多数。駐車場の出入口や道路の横断が危ないので、駐車場の配慮が必要。今の庁舎の場所は、バスの利便性が悪いので、目的がなければなかなか人が集まらず、新庁舎を建てても今と変わらないのでは。
- 骨子の敷地利用計画を見ると、駐車場と新庁舎の関係が、地下ではなく道路を横断するのが気になる。新庁舎のすぐそばに駐車場できないのか。
- 高齢化が進むし、障害のある方は、庁舎から駐車場まで横断歩道を渡るのは危ない。地下歩道や屋根を付ける、2階を繋ぐなど考えてほしい。
- 現在の庁舎は、どこが障害者用駐車場か分かりにくいので、分かりやすく障害者に優しい駐車場をつくってほしい。
- 今の駐車場の障害者スペースには、障害者のほか妊婦、高齢者などが一緒に止めることができる。障害によっては乗降が大変で広い駐車場スペースが必要となるが、そこに高齢者などの方の車が駐車すると止められない。少し配慮してほしい。
- 7条駐車場のメリットは、濡れないことと、冬は暖かいことであり、第二庁舎を含め駐車場の隣接を考えるべきである。
- 7条駐車場は階段しかなく、車いす利用者が地上に上がれず、段差があつて文化会館へ行けないなど課題がある。障害者専用駐車スペースとすると使えないスペースが出てきてしまうので、誰もが一緒に使いやすい駐車場が良いと思う。

◇市民活動・市民交流支援機能

- 行政に代わって市民活動を担っているという責任を感じているので、市民委員会連絡協議会の活動の場がほしい。
- 民間で比較的低料金でイベントスペースなどを貸しているのだから、市役所でそのようなスペースを運営すると、民業圧迫ではないのかと思う。
- 市で貸館を運営している施設があるが、必ずしも利用率が高いというわけではなく、そのような施設が何故上手くいっていないのか分析も必要であるし、分析せずに増やすと、果たして運営が成り立つのかという懸念がある。
- 市民活動支援・500 m²を想定しているということだが、1 m²あたり 40 万円とすると 2 億円かけて、そのような機能を庁舎の中に設ける必要があるのかと思う。
- 市民活動交流センター (CoCoDe) も市民活動支援機能を持っており、利用者が減ることもあるだろうし、市民活動支援という意味で専門的な相談を受ける人を市に配置することができるのかという問題点がある。
- 新庁舎に市民活動支援機能が付加されるのは良いが、各公民館や市民活動交流センターの機能とどのように整合性を持たせるのか危惧している。現時点で市には民間の活動を把握する部署はあるが、支援する部署はない。単にスペースを設けるだけで、広々とした所に市民団体のパンフレットを置いてあるだけでは無駄となる。

- 市民活動を支援するならば、公民館や市民活動交流センターなど、他の市民活動支援機能もあるので、それらと連携や整理するなどして、方向性を定めた上で決めていただきたい。
- NPO 団体が会議や集会に利用できるというのは、貸館的なイメージを持つので、骨子の表現は良くない。市の NPO 相談は NPO を設立するための手続を支援するものだが、本当の NPO 支援というのは、どのようにすれば NPO が成長するのか、ボランティアをどうするのか、NPO ができた後どのように維持管理していくかであり、本来の NPO 支援とはかなり違うのではないか。
- 新庁舎の新たな機能の付加として、市民活動の支援を全面にうたっているので、市民はすごく期待すると思う。より実質的に期待に応えられるような、今までの市民活動団体や NPO と協働というか、能力が発揮されるよう構築していただきたい。
- 市民活動交流センターがあるので庁舎に行くメリット、付加価値がない。1 か月前から予約開始など規制を設けず、若者が利用できるような、庁舎だからできるというものがあると良い。
- 西武旭川店にあった市民ギャラリーが物差しになると思う。市民ギャラリーは、1 年前から予約がいっぱいで展示スペースとして良いが、あまり知られておらずなかなか人が来ない。市民の作品発表の機能は、是非、考えてほしい。
- 文化会館の展示室は、利用者が少なくなっているし、場所も広く遠い。個人利用者が減っており、閉まっていることが多い。市役所に展示スペースを作ると文化会館の展示室利用者が減るのでは。
- 銀行にも展示スペースがあるが、展示スペースを独立させると管理するのが難しいと思う。
- 今の文化会館も民間委託することで良くなった。展示スペースなどは、委託するなど設備を含めた管理が大事だと思う。
- いろいろな団体があるので、美術関係をどうまとめ、展示していくかは難しいかもしれない。
- 文学資料館もパネルを組み合わせる展示の工夫をしているが難しい。新庁舎にも最高級のデザインの、立派なパネルがあると良い。
- 骨子に示している事例は公民館にある一般的な穴開きパネルよりもずっと良いもので、上から吊して一体になっているのかと思うが、自由に自立するパネルが望ましい。照明も自由に設置できるのはすごく良い。
- 上から吊して掲示する場合、曲がるので支えなければならず掲示が大変となるので、穴あきパネルの方が良い場合がある。
- 新庁舎はある程度のレベルを維持した、市内の文学などの総元締めになるような展示を求めたい。
- 展示スペースとしてはアッシュくらいのスペースがあると使いやすい。発表できるように音響設備もあると良い。
- 市役所の中のカフェ、喫茶コーナーなどに障害ある方が活動できる場があると、市民の方に障害について知っていただけるのではと思う。
- 市民の憩いの場所として、夜間も利用できるのかなど運用面が重要だと思う。

- 市民活動機能は 2, 3 階だと興味ある人しかいないと思うので、なるべくなら 1 階で広くスペースを確保してほしい。

◇情報発信機能

- 言われないとわからないので、市の鳥や花などをわかりやすく展示すると良いのではと思う。
- 井上靖記念館で言うと、観光客は作品などを見たくて来る人が多いが、市民は知らなくて偶然来たら良かったという人が多く、市民にもっとアピールしなければと思う。
- 今まで様々な情報を市民に 1 年通して提供するような専門的な部署がなかったので、そういう機能やスタッフは必要だと思う。
- 市役所に気楽に足を運んで、いろんな情報得られる場所は必要なことであると思うし、そういうことができる場所となると良い。
- できるだけ地場の木材を利用したり、庁舎に旭川の特産物があると観光分野の面からも宣伝に繋がっていくと思う。
- シティプロモーション機能は、開庁時間以外、土日祝日などに観光客が訪れることができるよう運用を検討してほしい。
- シティプロモーション機能として、最上階に旭川の大雪連峰や川のまちであるなど旭川の成り立ちなどを紹介する場があると良い。
- 旭川には魅力的な資源があるので、旭川で暮らしたいという人を呼び込むようなビジョンもってやると良い。
- 旭川らしさの発信自体は良いが、芸術や文化は既に記念館などあり、どのように連携するのか、ものづくりのまちをどう表現するのか。市のシンボルとあるが、旭川らしく緑地などの敷地利用を考え検討していただければと思う。
- シティプロモーション機能では、観光客も対象としているが、庁舎を利用するのは、市民であり観光客ではないのでは。
- 市民に家具のまちというのは既に浸透しているのにアピールは必要か。
- 行政と民間がターゲットを絞って、一緒に情報を発信しないといけない。
- 骨子に示されている旭川の魅力の発信やシティプロモーション機能は是非やってほしい。

◇利便施設機能

- 道庁の入ってすぐの場所に物産展などやっており、そういうものがあると足を運ぶと思う。
- 気軽に利用できる食堂や売店とあるが、職員と市民と一緒に利用する場とするのなら、もっと具体的にすべき。
- 北見はデパートに庁舎が入り、札幌や東京はワンフロアが食堂街になっている例もある。展示スペースは閑散とするのではないかと思うので、たくさんの市民が来るように 1 日の利用者数を踏まえて、飲食業をワンフロアにした場合にペイするか計算し、にぎわいをもたらす方法を考えた方が良いのでは。

- 高校生などが気軽に立ち寄れるような場所が良く、自習スペースがあると良い。
- スカイツリーの展望とは言わないが、大雪山の景観は旭川独自のものだと思う。
- 庁舎は街のシンボルになるので、都庁や茨城県庁は最上階に 360 度展望できる空間があり、日常の執務に関係ないかもを是非検討してほしい。茨城県庁は、案内する人もいてそういう機能も必要だと思った。
- 最上階に展望できるカフェなどがあると良い。絶対行きたいと思う。
- フードコートまでいかないまでもスターバックスコーヒーやコンビニがあると寄りやすい。
- コンビニにはイートインスペースもあると良い。
- スマートフォンなどを充電できる機能もあれば良い。Wi-Fi スポットもあると良い。
- キッズスペースを設置するならば、床などが汚いスペースが多いので、管理を徹底してほしい。
- 子どもを預かる保育士がいる保育所のような機能があれば良いと思う。
- ATM は立つ方用の高さだと車いす利用者の使用が難しく、最近は高さが低い ATM も出てきているので配慮してほしい。自動交付機も同様に考慮してほしい。
- 来庁者が疲れた時に休める部屋がほしい。

◇地域産業の振興

- 木をたくさん使ってほしいが、設計の段階からよく打合せしないと、消防法の規制があるので、不燃物使わなくて良いところまで不燃物を使うことがある。
- 旭川の特殊性、旭川家具、木材、大雪山を考え、基本設計の段階から木を使うよう市で強く言ってほしい。
- 当麻町は発注前段階に市有林を加工して使用する取組をしているのだが、旭川市も江丹別や米飯の市有林の活用を検討してはどうか。
- 地場産木材利用は良いことだと思うが、納期がかかるので地元産にこだわると苦労すると思う。適材適所があり、経済性を重視して、入手しやすい木材を柔軟に利用した方が良いと思う。
- 内装に木材利用する場合、節がない木材を求めるとコストが高く、集めるのは難しいが、節など木の個性を活かして上手く使えば、使える材料が増え、コストダウンできると思う。
- 特別なサイズの木材を利用せず、一般的な寸法である三五角など使いやすい木材を利用すると良い。規格サイズだと雨で劣化してもその部分を取り替えることができる。木材の不燃処理は大変であり、コストも高くなるので、できれば工夫して不燃処理をしないようにする方が良い。木材利用はコストが上がるイメージがあるが、多くの人を利用するので耐久性を備え、取り替えがきく木材利用が良いと思う。
- 旭川駅舎の際、苦労したのは、木材を知らない建設会社に雨の日の施工を求められたことであり、旭川の業者は良く知っているのでもうまくできると思う。
- 外装のコンクリートも時間が経つとあせてきて、木材と一体化した色になり、マッチしておもしろいと思う。

- 木材利用は公共施設の実績もあるので、安心して利用してほしい。

◇文書保管等機能

- 文書管理が気になる。今は、過年度の文書が多いので、書類をマイクロフィルム化するなどにして書類整理して、倉庫などについて検討するべきだと思う。
- 管理スペースが莫大なので書類をどうするかも大事である。

◇議会機能

- 市民に開かれた議会とするのであればもう少し低層に配置すると良いのではないかな。
- 議会が上層階になると傍聴に行きづらいと思う。
- 道内の他の自治体ではケーブルテレビで議会中継をしており、なんとか実現したいと思う。
- 議会を入れなければならないのだろうか。議会を入れることが市民サービスとは言えないのでは。
- 議会棟を壊して他に移動させると良いと思う。
- 議会棟は壊さなくても良いのでは。

◇災害対応機能

- 総合防災センターが災害対策本部などを担うためにできたのではないのか。総合防災センターにバックアップ機能を持たせるというのは、できた当時の事を考えると逆ではないかと思う。
- 今の庁舎周辺は、防災マップで土地が低くピンク色で示されている認識があり、それで高い地域に防災センターができたのだと思うが、土地が低い場所に防災機能を持って大丈夫か。
- 難病で在宅医療を受けている者は、水・ガス・電気が避難所にないと生きられない。医療的なバックアップする場を庁舎に確保してほしい。

◇省エネルギー機能の向上，新エネルギー導入

- 広く何もない建物は、北海道では暖房費が無駄にかかりすぎると思う。
- コージェネレーションシステムは最近調査を行ってきており、進めることができると思うが、旭川は札幌と違い、建物が集中して建っていないので、熱供給公社のようなものは難しい。
- コージェネレーションシステムは冬は良いが、夏場どうやって熱を使うかが課題である。
- 経費節約という点で、照明器具など消費電力を減らす方法があれば採用してほしい。

◇その他機能

- 大雪連峰があって、庭園があって、市役所と文化会館の関係性があって、その中

に立ち寄りたくなるような物語がないとにぎわいが生まれない。機能だけではだめだと思う。

- 新庁舎の機能に関して、健常者に理解を求めることになると思うが、障害者だからといった意識をする必要はなく、高齢者の使いやすさを考えて進めれば、誰にとっても使いやすくなる。
- わかりやすい表示などハード面は良いが、ソフト面として知的発達障害者に対する理解を深めるよう職員教育を充実させてほしい。
- 庁舎内で障害者が働けるようなコーナーの設置を考えてほしい。
- 多目的トイレに点字の表記と音声で確認できるものの設置してほしい。一般トイレは、現在の庁舎や科学館（サイパル）のようなレバー方式としてほしい。
- 職員専用の保育室を設け、職員が働きやすい環境を作してほしい。
- 保健室をつくり緊急に備えてほしい。
- エレベーターのドアはガラスとし、中からも外からも見えるものにし、エレベーター内に緊急用の設備として、映像と字幕で交信できるものを備えてほしい。
- 耳が聞こえないと情報がすぐわからない。災害時など緊急時は、大きなフラッシュで、事故が起きていることを知らせ、内容は文字で伝える設備を備えてほしい。
- 8つの基本方針があるが、それぞれに優先度の差はあるのか。基本方針の優先度がないと、今後計画を進める中で判断に困る場面が出てくるのではないかと思われる。今後整理した方がよい。
- 様々な利用価値を持った多機能の庁舎を目指してほしい。
- 市民ギャラリー機能などの詳細が知りたかった。骨子の説明が全体構想の内容だったので意見の言いようがないというのが率直なところである。具体的な場所が示されないとイメージがわからない。完成が5年後なので、まだまだなのだなと思った。
- 市役所は、格式高い感じがして気軽に寄れる感じではない。
- 高齢者となっていくので入りやすく、話しやすい市役所になれば良いと思う。
- 住民として本庁エリアに様々な機能がまとまっている方が使いやすい。
- いろいろな機能を盛り込みたいだろうが、数年後で収納が足りないということがないようにゆとりを持った計画としてほしい。

(2) 新庁舎の敷地利用に関する意見

新庁舎の敷地利用に関しては、「新庁舎の規模の算定」についての意見がありました。また、骨子における「敷地利用計画」では、文化会館の建替えと合わせた一体的な敷地利用計画とすることを示しましたが、その「敷地利用計画検討の方向性」に関する意見や、総合庁舎及び第三庁舎を解体撤去し、敷地の有効利用を図りたいと示したことから「既存庁舎の取扱い」に関する意見、敷地全体の「敷地利用計画」に関する意見が多く挙げられました。

◇新庁舎の規模の算定

- 今後、計画を進めるに当たっては、人口減少傾向が進んでいる中、職員数等の見

通し等に留意し、適切な規模になるよう更に努めてほしい。

- 人口減が想定されているのならば、行政として人口増に向けた工夫もしていくべきでは。次の世代のためにも子どもを産み育てる環境を整えるべきだと思う。
- 建物の寿命は 70 年から 80 年である。旭川の人口などは今後減少していくと予想される中で、新庁舎はこれから長い期間使い続けることから、人口減少等の社会情勢の変化を見据えたものとするべきである。
- また庁舎が分散するのは勘弁してもらいたい。今後人口が減っていくが、職員も減らして大丈夫なのか。
- シビックセンターとあるが、どこまで機能を盛り込むか、行政施設なのでなおさら線引きしなければならないと思う。
- マイナンバーなど活用できれば、アナログ的な業務を圧縮できると思うので、そのようなことを見据えた機能性やスペースが大切だと思う。
- 紙を保管するスペースはみっともなく、整えれば建築費が安くなる。議員数は今より少なくても良く、議会棟は別の場所で良いと思う。もう少し庁舎のコンパクト化を考えるべきである。
- 支所機能を高めて、新庁舎の面積を少なくするというのも考えるべきでは。
- 住民サービスの点で、近くにある支所を利用することで良いのでは。
- 何でもかんでも集約するのではなく、支所のような出先機関が充実すればいいのではないか。
- 集いの場として休憩するような空間がないのであれば、庁舎を大きくする必要はないし、機能性を重視した形も考えられると思う。中途半端にならないか懸念している。
- 新庁舎にいろいろな機能をもたすのなら、この規模では足りないのでは。今までのような詰め込む形ではなく、ユニバーサルデザインでゆとりや空間を持たせ、動線をきちんと検討するべき。
- コンパクトシティとしてコンパクト化を考えるべきという意見が多数だと思う。
- 1,2 期に分けるとシビックセンターの理念との整合性はどうか。イメージとして 1 期棟を大きく建てることで市長公約との整合性が取れるのではと思う。
- 広いホールができるのかと思っていたが、敷地を見るとそうでもない。今の庁舎のエレベータホールは狭いので、新庁舎はゆったりした空間にしていきたい。
- 商工会議所、社会福祉協議会の入居について、周りでも反対・賛成と様々な意見がある。また、その 2 つの他にもいろんな団体があり、それらを新庁舎に入居させるかどうかの扱いも整理する必要があると思う。
- 民間窓口機能として公的な所は他にもあり、地域包括支援センターを入れた方が良いのでは。
- 財政が厳しい中で、民間である商工会議所が入居するのはどうかと感じる。
- 旭川駅は広いが人がいなくて寂しい感じがするので、新庁舎は寂しい感じがしないものとしてほしい。

◇敷地利用計画検討の方向性

- 文化会館の建替えは良いと思う。
- 文化会館は別の場所に建てた方が良くと思う。
- 文化会館は、バスや JR など公共交通機関が便利な北彩都エリアに建てた方が良い。土地を取得しなければならないのはデメリットだが、文化会館の利用が増え、集客力があり、地方からも来やすいと思う。
- 今の文化会館は使いづらく、玄関入るときからバリアを感じる建物であり、是非、建て替えて、バリアフリーの建物にしてほしい。
- 文化会館も耐震性が不足しているのであれば、いつかは建替えなければならない。
- 同じくらい金額がかかるなら、新しい方が良いということか。文化会館の改修の間が使えないという理由で壊すというのもあるが、古い方が良いという価値観もあるのでは。
- 文化会館は休館期間があると影響が大きいと思う。
- 市役所と文化会館が複合的に使える造りにしてほしい。
- プロジェクト組んで、文化会館と合わせて一体化して全てやってほしい。
- 文化会館は災害時の緊急避難場所として考えられる。そのような機能を検討してほしい。
- 文化会館は 1,500 席あるが、若いアーティストを呼ぶには大きなものが必要だと思う。
- ホールの席をすり鉢状に配置して座席数を稼ぎ、文化会館の必要スペースを少なくする手法もあると思う。
- 今の文化会館の搬入口では大型車は旋回できないので、出入口を別にするなど考えてほしい。
- 文化会館を小さくするとイベントの誘致どころではなくなる。他から来て、お金を落としてもらい必要もある。
- 文化会館の機能は公会堂で良いのでは。

◇既存庁舎の取扱い

- 総合庁舎は、コストと見合いを考えるとそこまでの価値があるのだろうかと思う。
- 総合庁舎の外観は価値があるかもしれないが、中身が伴っていない。今の敷地ということであれば、建替えかと思う。
- 総合庁舎の保存の話が出ているが、維持費を考えると、人口も減り、財政難の中厳しいと思うので壊した方が良くと思う。
- 総合庁舎について文化的価値があるのだろうが、震度 7 や 8 の地震がきたら危ないのではないかと感じている。これを改修しても維持費がかかるのではないかとと思う。改修しても、いずれまた建替えや改修を行う必要があるのであれば、費用対効果を考えると、建替えた方が良くのではないかとと思う。
- 総合庁舎は良いが、残すと維持管理のお金がかかると思う。
- 重要な建築物も過去には壊してきている。マッチ箱みたいな建物は味気ないので、文化的な建物にして、良い物を建てたなという物にしてほしい。

- 総合庁舎を解体するのは仕方ないと思うが、札幌、小樽は歴史的建造物を活用している。今の庁舎も年数が建てば、更に歴史的建物となる可能性もあり、壊すと戻らないので、そういう意見もあるということの頭の片隅に入れておいてほしい。
- 総合庁舎を解体するとしているが、あれだけの大きな建物を解体するのはもったいない。
- 総合庁舎に歴史的価値があり、建築家が保存運動もしている。壊した後、こういうものがあつたと説明しても意味がないと思うので、総合庁舎を残すべきだと思う。
- 保存理由を全市民に周知し、理解してもらって保存してほしい。
- 基本方針にある「地球にやさしい庁舎」とするのであれば、総合庁舎を残すことが一番地球にやさしいのでは。
- 建築学会賞も取っているし、120年のまちの歴史のうち60年ありつづけた建物を壊すにはもっと議論が必要だと思う。
- 登録有形文化財に登録することで、建物に価値が出て、補助金も有利であるのであれば、登録して保存することを検討するべきでは。
- 市民会議のようなものではなく、少人数で、市長のブレーンのような集まりでもう少し議論する場を作れないか。公共施設の再配置計画となれば、グランドデザインをどうしていくかということに関わることであり、もう一度深く考え立ち止まるべきと思う。
- 春光小学校などレンガ造りであり、建替え時期に旧小学校のレンガを新しい学校の壁にレンガを埋めた事例もあるので、そのような残し方かと思う。
- 今の庁舎に使われている材質でミニチュアを造って残し、今の庁舎について市民に理解してもらえたらと思う。
- 総合庁舎のことについて周りに関心ある人はいない。市民とのキャッチボールが少ないのではないか。
- 庁舎建設の検討時には想定していなかった西武旭川店の撤退やマルカツの状況がある中、そのまま進めているが、庁舎建設を根本から見直すべきでは。総合庁舎は保存要望があるのに、損酌しないまま、価値があると言われている建物を簡単に建て替えて良いのか。進めて行きたいのは分かるが、時期尚早では。もう少し練ってからでも十分ではと思う。
- 保存した方が良いという意見や、保存しない方が良いという意見がある。周りに聞いた感じでは保存しない方が多いように思うが、価値観はそれぞれあるので市民合意を得て決めれば良い。

◇敷地利用計画

- 新庁舎を建て替えるのは、今の賃貸借ビルを解消し集約するためかと思っていた。将来の税収や人口減を踏まえて2期棟を検討するのは、本来の目的から外れているのでは。2期棟を建てる前提ではないのなら、第三庁舎をそのままにして人を移せば良いのでは。
- 移転するならば、総合庁舎を活用できると思うが、今の敷地では難しいと思う。

- 今も建物内は狭く、部門が分散しているので集約できる建物が必要だと思う。網走市役所は中心部から場所が離れていても集約していた。できる限り1か所の庁舎に集約すると良いと思う。
- 建物の高さが10階から14階とあるが、あまりに幅がありすぎるので具体的にすべきではないか。
- 建設場所は、北彩都のような駐車場の広いところが良かった。
- 建てるエリアはやはり現総合庁舎周辺が良いと思う。
- 3か所あった敷地から絞られた今の建設場所は妥当だが、あとは中身だと思う。
- 基本計画策定するまでに、総合庁舎をどうするか、文化会館とどう一体的に整備するかなど決めるべきである。1期工事をやっているときに、決めるというのではだめだと思う。
- 建設を2期に分けるなど工程は工夫をしていると思う。
- 1期棟は延べ面積を考えると、まっすぐ、四角い建物となるのか。中層階に市民の憩いの場のスペースが取ればずいぶん違ってくると思う。
- 総合庁舎の1,2階を残して、その上を近代建築にするのも考えられるのでは。
- 文化会館跡を緑地にするのなら魅力的だが、駐車場とするのは、全体として緑が少ない。
- 新聞報道で文化会館の一部を壊して広く使う話があったが、議会棟を解体して、何年か議会棟を文化会館か北都中学校に移すと敷地面積増えて良いと思う。
- 将来的に7条駐車場を壊すなら、1期棟と2期棟に分ける必要はなく、まとめて建てることのできるのでは。社会情勢の変化など書いているが、結局のところ市の財政負担だけが問題では。
- 分けて建てる方が、1度に建てるより必ず財政負担が多くなる。レストランを壊す気があるなら、1期棟を文化会館側に建て、2期棟は文化会館の機能と合わせて建てることもできる。広い敷地なので何とでもなる。7条駐車場壊しても必要な駐車場を確保できるのだろうかと思う。
- いろいろ課題があって無理に建てるのではなく、理想に近づけて建てるべき。
- 高層にならないようになるべく低層にし、どこを壊すかはいろいろあるが、建築面積を広げると良い。
- 前にある広場まで建坪を拡大しないと無理ではないか。
- 1階部分は広く取った方が良いと思う。長岡市の庁舎に行ったが、1階はオープンスペースで広く、そこに行くともう工事が済む形は良かった。
- 展示スペースや文学史料をPRするようなスペースを取るなら1,750㎡は狭いと思う。
- 7条緑道からバイパスで結ぶなどして一体的に庁舎を整備すると良いのでは。

(3) 事業計画について

新庁舎の事業計画に関しては、骨子で示す「事業手法」、「事業スケジュール」、「事業費及び財源」のほか、「地域経済への波及効果」、「構造計画」、「その他事業計画」の項目に意見を分けて整理しました。

◇事業手法

- 直接建設様式を採用してほしい。
- PFI 方式を検討する VFM 算定は計算方式がわからず、条件によって変わってしまうので情報を与えてほしい。
- PFI で利益上げるなら、中心部なので上層部をマンションにした庁舎だと思うがそのような構想はないのか。
- 旭川のメインの建物なので木材利用の部分など分離発注できればと思う。道営住宅、札幌大、学校など分離発注が多くなってきていることを加味して検討いただきたい。
- 分離発注しても木材を使う場所が少ないのなら意味がなくなってしまう。
- 富良野マルシェを作る際、地元で指名入札で発注した結果、雇用効果が高かった例がある。

◇事業スケジュール

- 建設時期が東京オリンピックと重なるのが心配。職人がいなくなることを踏まえて考えた方が良いのでは。
- 長いスパンの計画で、内装などに木材を取り入れることができるのかというのがある。道産木材も減ってきており、1期棟、2期棟は同じような形になると思うので、木材を手当てできるか心配している。
- 原料を集めるのも大変だし、木材を仕上げる時間もかかる。事前に形がはっきりしないと難しい面がある。松は融通がきくが、広葉樹は時間がかかる。
- 建設業界の状況を鑑みると2期棟工事頃は、40万/㎡は難しいと思う。資材など高騰しているし、タイミング的に良くない。
- 工事の担い手を増やす方策に苦慮しており、工事の確実な実施を担保するため、発注者と受注者が十分協議し、工期延長を可能とする配慮を願いたい。
- できればもっと早く新庁舎ができると良い。

◇事業費及び財源

- 建物の高さが14階になるとあるが、高すぎるのではないかと。もう少し低くすると事業費が圧縮されるのではないかと。
- 人口減るなかで多額の借金かかえるのはどうか。
- 庁舎が狭いのも古いのもわかるが、経費が掛かる。財源がほとんど起債という借金なので、市民負担がかかる。財源はどのように考えているのか。
- 事業費のうち、借金をいかに少なくしていくかというのが大切では。
- 駐車場機能や展示機能は文化会館のコストに入れてはどうか。文化会館の方が交付金が出るように思うし、庁舎建設のコストが縮減する。
- 大阪空港そばのタワーは上層部がマンションである。市も収入を得る方法を考えることも大事である。
- 箱物を建てた後の維持費どうするかも問題だと思う。

- 一般の予算をどのくらいカットしなければいけないのか。返済するのに相当かかると思う。
- 新文化会館建設や撤去も合わせると 250 億円くらいかかるのが、本当にできるのかと思う。
- 建設時期に消費税が上がると負担が大きい。
- 市民からふるさと納税などの募金や JR 旭川駅のように壁板に名前刻むなどの手法でお金を集めると案外集まると思う。

◇地域経済への波及効果

- 全体的に 140 億円というかなり大きな事業なので、ゼネコンではなく、なるべく地元の企業が潤うような形で検討していただきたい。
- 最後は本州に持って行かれているという結果がある。市が会社を育てていないからでは。
- 総合庁舎は戸田建設で建てており、大手で建てている、民間手法を取り入れると地元が参加しにくくなる。
- 設計段階から打合せし、オール旭川でできるよう努力したいと思う。

◇構造計画

- 市内業者には免震構造施工実績はなく、耐震構造としてほしい。
- 木材の活用として構造体だけでなく RC に挟むとか、建物の最上階を木造にすることで、構造も軽く、費用が増えなくて良いと思う。木材利用はいろいろ新しい技術が出ており、木材利用も可能だと考えている。
- 技術が進歩しているので 4 階建てまでなら木造建築が可能だと思う。2 期棟を木造にするとか、低層階を木造とするとか考えられないか。

◇その他事業計画

- 文化会館も市庁舎に包含して一括して建てられないのか。骨子には文化会館建設費は入っていないので建設費用が大きく膨らむことになるのではと懸念する。文化会館は建替えの為に 5 年程度使えなくても、他に市内代替施設があるので市民は我慢してくれると思う。文化会館の建設費等、結果的に費用が膨らむ可能性のあるこの計画は見通しが甘すぎると思う。
- 西武などの空き店舗に市の機能が入居することにならざるを得なくなった場合、この計画はどうなるのか。そのような事態を考慮しておくべきでは。

(4) その他

意見交換で出されたその他の意見をまとめました。

- 現在使っている家具は、新庁舎に移転したらどうするのか。必要なくなるなら、まだ使えると思うので、安く販売したらどうだろうか。ちょっとでも収入になるのではないかと。北海ホテル解体の際は、家具等を販売していた。

- 古い什器を捨てるのなら、町内会などに無償提供するなどできないか。
- これまで出た意見を取り入れて設計すると思うが、粗々な設計ができた段階で、再度意見を聞き、我々の要望を出せる場を設けてほしい。
- 今までの市の長期計画は上手くいっていないように思う。
- どういう庁舎にするか決めてから意見交換を実施してほしい。
- 骨子を見て、どこが決まっていて、どこが決まっていないのかわからず、どこについて意見がほしいのかわからない
- 新庁舎はデザインではなく機能性を重視したものとすべきでは。デザインではなく機能にお金をかけるべき。
- 建物のデザインが不明なので、模型のようなものがないと市民がどういう建物が建つのかわからないので、必要では。
- 旭川らしい建物とすると、緑の多さと白い雪に合う色が良いと思う。現庁舎の色は好きだが、デザインは使いにくいと思っている。色は今のままで良いが、スペースは機能的に無駄のない造りにしてほしい。
- 永隆橋通は人を繋ぐ中心となっていくのだと思うが、今の庁舎の周りにはカラスがすごいので、その対策もしてほしい。
- 第8次総合計画では、「造る」から「保全・活用」への転換を図っていくとしているが、今回の骨子の考えは、整合がとれていないのではないか。
- 今回も意見や心配事が出ているが、一つの建物を建てるには、検討過程など浸透するようにもっと市民にきちんとした説明すべき。
- 何かしらの手段で市民に知ってもらうことはできないか。広報の表紙に掲載するなどして関心を持ってもらいたい。
- 神楽まち協の意見としては、北彩都に建設してほしいというのと、人口減少が見込まれるので、今は狭くても時代に合わせた大きさも検討すべきというものだった。事業費は消費税も上がるし、人件費も微増するので経費は必ず上がると思う。後世に禍根を残すような工事はしないで立派な物を作ってほしい。
- 人口減少の中 36,000 m²を建てて、必要のないスペースができた場合、現庁舎エリアではテナントで借りる人はいないと思う。北彩都ならビジネスチャンスとして空きスペースを民間事業者に転嫁できる可能性があると思っていた。
- 新庁舎に確保できないだろうが、市役所内に事務局を持つ各団体を1つにまとめ、部屋は区分し、コピー機などを共用するような形で5条庁舎などを行政財産目的外使用許可で使うようなことは考えていないのか。

意見交換実施団体一覧

1	中央・新旭川まちづくり推進協議会	43	旭川市商店街振興組合連合会
2	豊岡まちづくり推進協議会	44	(一社)北海道中小企業家同友会道北あさひかわ支部
3	東光まちづくり推進協議会	45	旭川地方木材協会
4	北星まちづくり推進協議会	46	旭川林産協同組合
5	末広まちづくり推進協議会	47	旭川地方森林整備事業協同組合
6	春光まちづくり推進協議会	48	(一社)北海道林産技術普及協会
7	春光台・鷹の巣まちづくり推進協議会	49	旭川家具工業協同組合
8	神居まちづくり推進協議会	50	旭川建具事業協同組合
9	江丹別まちづくり推進協議会	51	(一社)旭川建設業協会
10	永山まちづくり推進協議会	52	(一社)旭川建築協会
11	東旭川まちづくり推進協議会	53	旭川電気工事業協会
12	神楽まちづくり推進協議会	54	旭川市管工事業協同組合
13	緑が丘まちづくり推進協議会	55	(一社)旭川空調衛生工事業協会
14	西神楽まちづくり推進協議会	56	(一社)北海道建築士事務所協会旭川支部
15	東鷹栖まちづくり推進協議会	57	旭川機械金属工業振興会
16	旭川市市民委員会連絡協議会	58	旭川鐵工組合
17	地域包括支援センター	59	北海道機械工業会旭川支部
18	(社福)旭川市社会福祉協議会	60	旭川型枠工業会
19	育児サークル	61	旭川溶接協会
20	旭川地区バス協会	62	旭川鉄工青年会
21	(一社)旭川地区ハイヤー協会	63	旭川市消防団
22	旭川NPOサポートセンター	64	(一社)旭川身体障害者福祉協会
23	まちづくり市民の会	65	旭川アカシア会
24	旭川声かけ交流市民の会	66	旭川肢体不自由児者父母の会
25	生涯学習インストラクターまなびあさひかわ	67	旭川盲人福祉協会
26	まちなか文化推進協議会	68	旭川視力障害者福祉協会
27	コワーキングスペースあさひかわ37	69	(一社)旭川ろうあ協会
28	NPO法人すまいるin旭川	70	旭川中途難失聴者協会
29	旭川フィンランド協会	71	(一社)旭川手をつなぐ育成会
30	親子寺子屋	72	旭川精神障害者家族連合会
31	子どもの権利条約	73	(一社)旭川翔輝会北海道難病連旭川支部
32	潮音・新墾 旭川支社	74	旭川自閉症児者親の会
33	旭川書道連盟	75	旭川障害者スポーツ協会
34	旭川白魚火会	76	旭川障害者連絡協議会
35	旭川文化団体協議会	77	旭川老人クラブ連合会
36	ときわ短歌会		
37	NPO旭川文学資料友の会		
38	(一社)旭川観光コンベンション協会		
39	赤レンガ市庁舎を活かしたシビックセンターを考える会		
40	はしっくす		
41	旭川商工会議所		
42	あさひかわ商工会		

【参考】 出前講座実施結果

1 内容

新庁舎建設基本計画の策定に向け、新庁舎の具体的な機能や敷地利用計画、建築計画などの市の考え方を示した骨子について、受講希望があるおおむね 10 名以上の参加が見込まれる団体に対し、出向いてスライドを使い講義を行いました。

2 実施結果

(1) 三和商店街振興組合

ア 日 時 平成 28 年 7 月 22 日 午後 6 時 30 分から午後 8 時まで
イ 場 所 まちなかぶんか小屋

(2) 東部シルバークラブ

ア 日 時 平成 28 年 8 月 19 日 午後 1 時 15 分から午後 1 時 45 分まで
イ 場 所 東光東陽町内会館

3 参加者の意見

- 新たな機能の付加として市民活動の支援や旭川らしさの発信とあるが、不要だと思う。
- 魅力を発信するのであれば、市役所ではなく駅や交通機関で行った方が良くないか。観光客は市役所には行かないし、そこで発信しても伝えられないではないか。JRの駅や道の駅での発信機能を充実していくべきではないか。
- 新庁舎の計画によって、庁舎のことを自分たちのこととして考える良い機会となった。旭川市民みんなで新庁舎を考えていくことが大事だと思う。
- 私たち市民の側にも、今までは本庁舎や第二庁舎が分かれていて不便な部分もある。新庁舎では集約されて便利な部分もあるが、レストランやATM、市民活動支援もあるとした時に、まちづくりとどう関係してくるのか。また、市民活動支援のために、500㎡だと2億かかるということなので、そういう機能にお金を投資することが、旭川市のためになるのかどうか。
- 耐震補強をして我慢して使って、他の事業に使ったほうが良いのかというのは、市の担当者もさることながら、市民にも問われていることではないかと思う。素晴らしい新庁舎ができそうだという期待感があると同時に、そのことが旭川のまちづくりに対してどうなのかというのは、私たちが想像力を働かせて、考えなくてはいけないと思う。
- 旭川は災害が起きにくいといわれている。地下を有効に使えば良いのではないか。
- 議会は、華美にせずコストを抑えるべきと考える。また稼働していない期間に市民が使えるようにできたら良いと思う。議会情報についての発信をしたり、傍聴をしやすくしてほしい。
- 建替えは良いと思う。行政機関が分散化しており、他の課の業務はわからないと

いう縦割りの様子も見える。それらが解消できるのは良いと思う。

- ハードを整備するだけでなく、ソフト面の整備も必要である。総合案内に期待しているが、あまり成功例を聞かない。総合窓口のための職員を入れるなどのコーディネートをするのであれば、多少のお金がかかるのは仕方がないと思っている。
- 新庁舎には、使い勝手を良くし、防災機能をしっかりしてもらっただけで良い。市民活動機能などを付加するなどあるが、それらは他の施設に任せて、市役所の機能として、市民が必要と思われる機能のみでいいと思う。わかりやすくシンプルにつくってほしい。
- 商工会議所を入れるということだが、異質と感じる。
- 全て完成するのは12~13年後ということだが、そのときの人口はどのようになっているのか。それを考慮して小さくつくった方がいいのではないか。買物公園の空き店舗を活用できないか。
- 総合庁舎を残すという話もあるようだが、維持管理をどうしていくつもりか。無駄ではないか。
- 大きな建物にしないで、分散させた方が良いのではないかとと思う。
- 1期棟の工事のあとに文化会館を建設するとあるが、その都度見直しをした方が良いのでは。細かく区切りをつけた方がいいのでは。
- 1期棟の建築面積が1,750㎡とあるが、総合庁舎前の敷地がそれぐらいあると思う。7条駐車場を活用して建てることはできないか。
- よくサンアザレアを使っているが、エレベーターなどが無く非常に不便である。そういうところにお金をかけて欲しい。庁舎も文化会館も改修する形でつかいつづけられないのか。
- 新庁舎の機能について、様々な機能があって良いと思うが、市民の意見を聴いて慎重に進めてほしい。
- 西武の建物を活用できないのか。第三庁舎の部署などを移せばいいのでは。
- 地域と市役所に距離があるように感じている。新庁舎を拠点とするのではなく、地域の中に拠点をつくることを考えてほしい。
- 第三庁舎跡地にコミュニティー広場のようなものができたらいいと思う。ちょっと座って休めるようなところがあったらいい。
- 総合庁舎は改修して残しても、近い将来また解体するかどうかを考えなければならぬと思う。それなら思い切って解体する方が良いと思う。